

# 令和2年度 公共事業事後評価調書

## 1. 事業説明シート

(区分) 国補・ 県単

事業名	中山間地域総合整備事業（国補）		事業箇所	北杜市明野町・須玉町		地区名	茅ヶ岳北西部	事業主体	山梨県
(1) 事業着手年度	H15年度	(2) 事業期間	H15年度～H27年度		(3) 完了後経過年数	5年	(4) 総事業費	2,882百万円	
(5) 事業着手時点の課題・背景					(8) 事業位置図等				
<p>本地区は、北杜市東部の茅ヶ岳山麓に位置し、稲作の他、りんごなどの果樹や高原野菜などの多様な農業が営まれている地域である。</p> <p>しかしながら、地区内の農地は区画が狭小かつ不整形であり、農道は幅員も狭いことから、収穫や運搬の作業効率が悪く、水路は老朽化による漏水などが発生しているため、早急な対策が求められていた。</p> <p>また、近年ではサル、シカ等の野生獣による食害も増加していることから営農意欲の減退などの原因となっていた。</p> <p>このことから、区画整理、農道、用排水路などの農業生産基盤整備と併せて、鳥獣害防止施設の整備を行い、営農条件の改善を図るとともに、農業集落道等の整備により農村の生活環境の向上を図ることで、地域の維持発展を目指すものである。</p>									
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果									
<input type="checkbox"/> 主要目標 <input checked="" type="checkbox"/> 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上  <input type="checkbox"/> 副次目標 <input checked="" type="checkbox"/> 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 農業用排水能力の向上  <input type="checkbox"/> 副次効果 <input checked="" type="checkbox"/> 農地の保全									
(7) 整備内容（目標達成の方法）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用排水路 (11路線) L= 4,622m</li> <li>・農道 (5路線) L= 3,139m</li> <li>・区画整理 (4箇所) A= 41.5ha</li> <li>・鳥獣害防止施設 L=14,263m</li> <li>・農業集落道 (2路線) L= 1,671m</li> <li>・農業集落排水路 (1路線) L= 670m</li> </ul>									

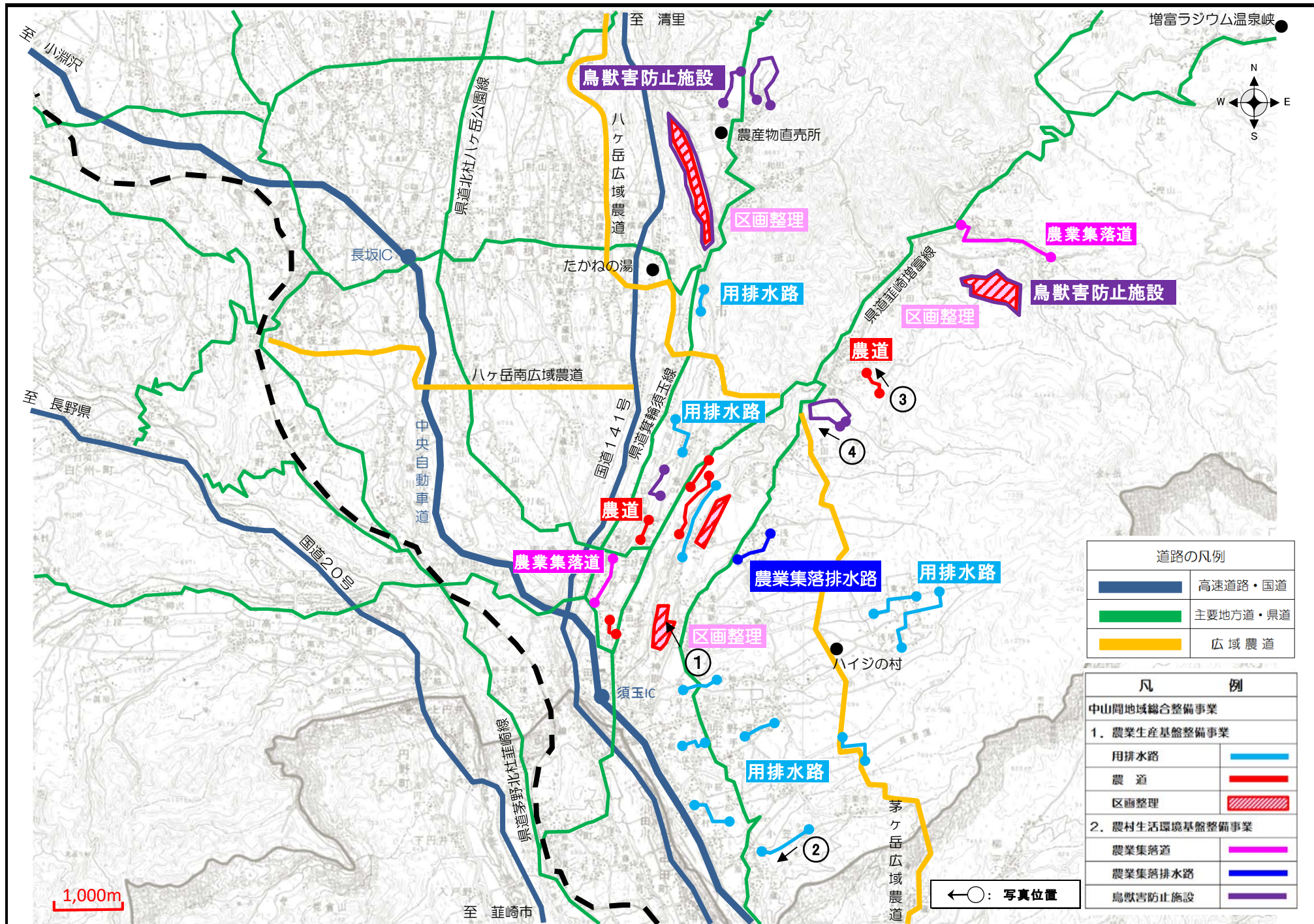
## 2. 評価シート (1)

(1) 事業貢献度 <span style="float: right;">〈良〉 不良</span>	(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 <span style="float: right;">〈有〉 無</span>																																																											
<p>(理由)</p> <p>安定した農業用水の供給により農地が潤され、農道の整備により農作物の品質が向上した。また、区画整理により農地が集積され、作業効率の良いほ場が形成された。</p> <p>①主要目標</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>事業着手時点数値等</th> <th>事後評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積当たり農業所得増加額</td> <td>1,298千円/ha ※1</td> <td>1,384千円/ha</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業所得の増加額が評価基準値1,322千円/haを上回っている。</li> <li>※1 評価指標を当時設定していなかったため、今回算出。</li> </ul> <p>②副次目標</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>事業着手時点数値等</th> <th>事後評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全幅員4m以上道路延長率</td> <td>5%</td> <td>100% ※1</td> </tr> <tr> <td>施設老朽度</td> <td>1.00</td> <td>0.40 ※2</td> </tr> <tr> <td>用排水能力向上率</td> <td>1.72</td> <td>1.72 ※3</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の完成により3.1kmが幅員4.0m以上に改良され、幅員4.0m以上道路延長率が100%となった。</li> <li>※1 (全幅員4.0m以上道路延長率) = (対象路線の全幅員4.0m以上の区間延長: 3.1km) ÷ (対象路線の全体延長: 3.1km) = 100%</li> <li>施設整備により耐用年数が向上しており、老朽度は改善されている。</li> <li>※2 (使用年数12年) ÷ (耐用年数30年) = 0.40 ≤ 1.0</li> <li>施設整備により通水能力が向上しており、排水機能は改善されている。</li> <li>※3 (計画排水能力: 1.038m<sup>3</sup>/s) ÷ (既存用排水能力: 0.605m<sup>3</sup>/s) = 1.72 ≥ 1.0</li> </ul> <p>③副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地の保全</td> <td>排水路の整備により排水機能が改善され、表土の流出が防止された。また、鳥獣害防止柵の整備により、農地が保全されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④その他の事業効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣害防止施設の設置により、獣(サル、シカ、イノシシ)の出没もなくなり、安心できる営農環境及び生活環境が整えられた。</li> </ul>	指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等	面積当たり農業所得増加額	1,298千円/ha ※1	1,384千円/ha	指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等	全幅員4m以上道路延長率	5%	100% ※1	施設老朽度	1.00	0.40 ※2	用排水能力向上率	1.72	1.72 ※3	項目	内容	農地の保全	排水路の整備により排水機能が改善され、表土の流出が防止された。また、鳥獣害防止柵の整備により、農地が保全されている。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点</th> <th>事後評価時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>2,475 百万円</td> <td>2,882 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H15~H21</td> <td>H15~H27</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td>H14</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>2,475 百万円</td> <td>2,882 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>2,475 百万円</td> <td>2,882 百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>3,626 百万円</td> <td>4,196 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>2,092 百万円</td> <td>2,474 百万円</td> </tr> <tr> <td>品質向上効果</td> <td>106 百万円</td> <td>108 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行経費節減効果</td> <td>1,288 百万円</td> <td>1,402 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他 ※1</td> <td>140 百万円</td> <td>212 百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C ※2</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 その他は、維持管理費節減効果、営農経費節減効果</p> <p>※2 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p>(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総事業費: サル、シカ等の野生獣による食害が深刻となったため、鳥獣害防止柵の整備が求められたことによる事業費の増。</li> <li>工期: 事業量の増による工期の延長。</li> </ul> <p>③事業実施による環境の変化</p> <p>①自然環境への影響</p> <p>基盤整備を進めたことで農作業の効率化等、営農条件が改善され、地域の良好な農村景観が保たれている。</p> <p>②生活・居住環境等への影響</p> <p>なし</p> <p>③環境保全対策の効果発現状況(措置を講じた場合)</p> <p>なし</p> <p>④社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響</p> <p>①社会経済状況の変化</p> <p>なし</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化</p> <p>なし</p> <p>③事業環境等の変化</p> <p>なし</p>	項目	着手時点	事後評価時点	総事業費	2,475 百万円	2,882 百万円	工期	H15~H21	H15~H27	評価基準年	H14	R2	経済効率性	費用	2,475 百万円	2,882 百万円	建設費	2,475 百万円	2,882 百万円	便益	3,626 百万円	4,196 百万円	作物生産効果	2,092 百万円	2,474 百万円	品質向上効果	106 百万円	108 百万円	走行経費節減効果	1,288 百万円	1,402 百万円	その他 ※1	140 百万円	212 百万円	B/C ※2	1.5	1.5
指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等																																																										
面積当たり農業所得増加額	1,298千円/ha ※1	1,384千円/ha																																																										
指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等																																																										
全幅員4m以上道路延長率	5%	100% ※1																																																										
施設老朽度	1.00	0.40 ※2																																																										
用排水能力向上率	1.72	1.72 ※3																																																										
項目	内容																																																											
農地の保全	排水路の整備により排水機能が改善され、表土の流出が防止された。また、鳥獣害防止柵の整備により、農地が保全されている。																																																											
項目	着手時点	事後評価時点																																																										
総事業費	2,475 百万円	2,882 百万円																																																										
工期	H15~H21	H15~H27																																																										
評価基準年	H14	R2																																																										
経済効率性	費用	2,475 百万円	2,882 百万円																																																									
	建設費	2,475 百万円	2,882 百万円																																																									
	便益	3,626 百万円	4,196 百万円																																																									
	作物生産効果	2,092 百万円	2,474 百万円																																																									
	品質向上効果	106 百万円	108 百万円																																																									
	走行経費節減効果	1,288 百万円	1,402 百万円																																																									
	その他 ※1	140 百万円	212 百万円																																																									
B/C ※2	1.5	1.5																																																										

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)</p> <p>用排水路の整備により農地の浸食や排水不良に起因する減収防止、農道の整備により生産や流通にかかる輸送経費の削減、区画整理による農作業の効率向上など、営農条件が改善されたことにより、農作物の生産性及び品質の向上が実現するとともに、農業用施設の維持管理労力が軽減し、地域の営農意欲が向上するなどの効果が発現されていることから、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期：            年度</li> <li>・方法：</li> </ul>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)</p> <p>なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>なし</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)</p> <p>なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>なし</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <p>なし</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>(理由)</p> <p>なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>なし</p> <p>(9) その他特筆すべき事項 <span style="float: right;">〈有・<b>無</b>〉</span></p> <p>なし</p>

### 3.添付資料シート(1)



道路の凡例	
	高速道路・国道
	主要地方道・県道
	広域農道

凡例	
中山間地域総合整備事業	
1. 農業生産基盤整備事業	
用排水路	
農道	
区画整理	
2. 農村生活環境基盤整備事業	
農業集落道	
農業集落排水路	
鳥獣害防止施設	

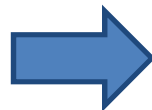
←○: 写真位置

### 3. 添付資料シート (2)



着工前  
狭小で不整形な区画のため、農作業に労力を要していた。

#### ①区画整理

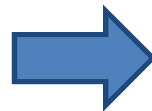


完成後  
区画整理により、農地が集積されたことで作業効率が向上し、営農条件が改善された。



着工前  
未整備のため、排水不良などが生じていた。

#### ②用排水路



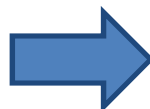
完成後  
用排水路の整備により、安定した用水が確保されるとともに、維持管理労力が軽減され、生産効率が向上した。

### 3.添付資料シート(3)



着工前  
幅員が狭く、すれ違いができないことから農作業に支障をきたしていた。

③農道



完成後  
農道の整備により、車両の乗り入れやすれ違いが容易になるなど農産物の輸送や通作環境が改善し、作業性が向上した。

④鳥獣害防止施設



鳥獣害防止施設の整備により、サル、シカ等による農作物被害が軽減されるとともに、安心できる営農環境が整えられ、耕作者の営農意欲が向上している。